

平成23年度事業報告書

I 法人の概要

1 設置する学校

東京聖栄大学

健康栄養学部 管理栄養学科
食品学科

聖徳調理師専門学校

調理師専門課程 調理師科

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

2 入学定員、学生数の状況

平成23年5月1日現在

東京聖栄大学

		入学定員	収容定員	現 員
健康栄養学部	管理栄養学科	80	320	358
	食 品 学 科	80	320	234
	計	160	640	592

聖徳調理師専門学校

		入学定員	収容定員	現 員
調理師専門課程	調理師科	80	80	69
	計	80	80	69

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

	入学定員	収容定員	現 員
計	300	300	302

3 役員、教職員の概要

平成23年5月1日現在

役員数

理事	8	監事	2
----	---	----	---

(平成23年11月改選後 理事9名)

教職員数

区分	法人本部	大学	専門学校	幼稚園	計
専任教員数		37	4	12	53
専任職員数	3	23	5	4	35

4 法人の沿革

本法人は東京都葛飾区の現在地に昭和22年洋裁学院を創立、同29年栄養士養成施設聖徳高等栄養学校設立の後、聖徳栄養専門学校に校名変更し、同校は昭和38年聖徳栄養短期大学に昇格した。また、聖徳栄養専門学校調理師科から独立した調理師学校は昭和52年専修学校 聖徳調理師専門学校として認可、同年千葉県鎌ヶ谷市に幼稚園を開設した。平成17年には短期大学を四年制大学へと改組、名称を東京聖栄大学として開学し今日に至る。平成19年、創立60周年を機に法人名を学校法人オлимпиа学園から学校法人東京聖栄大学と改称した。

昭和22年	4月	オлимпиа洋裁学院開校。
昭和23年	10月	財団法人オлимпиа学園設立認可。(文部大臣)
昭和26年	3月	学校法人オлимпиа学園に組織変更認可。(東京都知事)
昭和29年	3月	聖徳高等栄養学校設立認可。(東京都知事)
昭和29年	4月	聖徳高等栄養学校を栄養士養成施設として指定。(厚生大臣)
昭和32年	8月	オлимпиа洋裁学院を「聖徳服飾専門学校」 聖徳高等栄養学校を「聖徳栄養専門学校」に改称。
昭和35年	2月	聖徳栄養専門学校に調理師科を設置。調理師養成施設として指定。 (厚生大臣)
昭和38年	1月	聖徳栄養短期大学の設置認可。(文部大臣)
昭和38年	3月	聖徳栄養短期大学食物科第1部(後に食物栄養科さらに食物栄養学科第1部と改称)を栄養士養成施設として指定。(厚生大臣)
昭和39年	3月	聖徳栄養専門学校の短期大学昇格に伴い同校栄養本科を廃止、 4月1日より校名を「聖徳調理師学校」と変更。
昭和41年	4月	聖徳服装専門学校を「聖徳服装学院」と改称。
昭和52年	2月	聖徳服装学院及び聖徳調理師学校を専修学校として認可。(東京都知事) 聖徳服装専門学校、聖徳調理師専門学校と改称。
昭和52年	3月	聖徳栄養短期大学附属わたなべ幼稚園設置認可。
昭和60年	12月	短期大学食物栄養学科第1部専攻課程設置認可。 (食物栄養専攻、食品科学専攻) (文部大臣)
平成元年	4月	短期大学食物栄養学科第1部を同第2部廃止に伴い「食物栄養学科」と改称。
平成 4年	1月	服装専門学校廃止認可。(東京都葛飾区長・文部大臣)
平成 6年	12月	調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科(修業年限2年)設置。 (東京都葛飾区長)
平成 7年	12月	短期大学専攻科食物栄養専攻設置。(文部大臣)
平成 8年	1月	短期大学専攻科食物栄養専攻学位授与機構長認定。
平成 8年	12月	調理師専門学校調理師専門課程専門技術修了者に専門士の称号授与の 課程認定。(文部大臣)
平成14年	11月	短期大学食物栄養学科食品科学専攻製菓・製パンコースを製菓衛生師養成 施設として指定。(厚生労働大臣)
平成15年	5月	公開講座を葛飾区教育委員会と共催実施を締結。
平成16年	11月	東京聖栄大学設置認可(文部科学大臣)。開設時期平成17年4月1日。
平成17年	2月	健康栄養学部食品学科食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設登録 (厚生労働大臣)
平成17年	3月	健康栄養学部管理栄養学科の栄養士養成施設内容変更承認(厚生労働大臣)
平成17年	3月	健康栄養学部管理栄養学科の管理栄養士養成施設の指定(厚生労働大臣)
平成18年	5月	放送大学と単位互換協定締結
平成18年	9月	聖徳栄養短期大学廃止認可
平成19年	6月	法人名を学校法人東京聖栄大学に変更
平成21年	4月	東京聖栄大学健康栄養学部食品学科に フードサイエンスコース、フードビジネスコースを設置
平成21年	4月	聖徳調理師専門学校調理師専門課程調理師科入学定員120名を80名に変更
平成22年	4月	聖徳調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科生徒募集停止
平成24年	4月	聖徳調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科廃止

5 平成23年度入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、卒業生数

東京聖栄大学 健康栄養学部

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	卒業生数
管理栄養学科	80	424	411	162	99	87
食品学科	80	129	124	118	91	40
計	160	553	535	280	190	127

聖徳調理師専門学校

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	卒業生数
調理師科 (1年課程)	80	72	72	72	69	60
計	80	72	72	72	69	60

東京聖栄大学 附属わたなべ幼稚園

	年少	年中	年長	計	卒園児数
定員	90	105	105	300	105
新入園児数	88	13	3	104	
園児数計	95	102	105	302	

参考

＜平成24年度入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数＞

東京聖栄大学 健康栄養学部

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
管理栄養学科	80	378	359	154	86
食品学科	80	157	153	133	91
計	160	535	512	287	177

聖徳調理師専門学校

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
調理師科 (1年課程)	80	62	62	61	61
計	80	62	62	61	61

東京聖栄大学 附属わたなべ幼稚園

	年少	年中	年長	計
募集人(定)員	90	105	105	300
新入園児数	92	16	0	108
園児数計	98	107	99	304

参考

平成24年5月1日現在

入学定員、学生数の状況

		入学定員	収容定員	現 員
東京聖栄大学 健康栄養学部	管理栄養学科	80	320	342
	食 品 学科	80	320	278
	計	160	640	620

		入学定員	収容定員	現 員
聖徳調理師専門学校 調理師専門課程	調理師科	80	80	63
	計	80	80	63

		入学定員	収容定員	現 員
東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園		300	300	304

Ⅱ 事業の概要

<法 人>

新寄附行為が平成 23 年 11 月に施行され、役員、評議員の改選を行い、新理事会にて福澤美喜男理事長が満場一致で再選された。また、常務理事会制設置など改正寄附行為施行細則は同月施行、新规定の下で法人の管理運営がなされることとなった。

<大 学>

(1) 自己点検・評価に関する認証評価について

一昨年に設置された、大学改革・認証評価特別委員会、大学改革・認証評価プロジェクトチームのもと、自己点検を行い、その評価と課題の改善に努めてきた。認証評価機関の一つである（公益）財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受審することにし、評価基準 11 に亘る項目に沿って「自己評価報告書」を作成、平成 23 年 6 月に提出し認証評価を受けた。同年 10 月 6、7 日の 2 日間に亘る実地調査と事前の書面質問等調査が行われ、その結果本学は同機構による大学評価基準を満たしていると認定された。認定期間は平成 23 年 4 月 1 日から 7 年の期間である。

(2) 教育課程等について

かねて本学教務委員会で学士力充実のため、教育内容の充実を図るべく検討を重ね 2 学科の教育課程の教科目、単位数の一部改正を行い、また自己点検評価の過で改正すべきとされた単位制度の実質を保つための履修科目登録の上限の改正と取得資格の明文化並びに、大学及び学科の目的を再構築し学則変更届および管理栄養師養成施設の内容変更手続きを行った。さらに設置する各学科のカリキュラムポリシー（教育課程編成方針）の策定がなされた。

管理栄養学科

本学 3 期生の平成 23 年管理栄養士国家試験合格率はおよそ昨年比 13.7%上昇し、82.3%となった。年間を通じた特別補講、外部模試のほか、全員を対象とした個人面談、三者面談を実施し早期に合格への動機付け・意識付けを行う一方、グループ分けによる自主学習を行った成果となっている。なお、本年 24 年 3 月実施の国家試験合格率は 93.7%となった。

食品学科

実務に活かせる資格として、食品衛生微生物検査技士の技術講習認定校に登録。なお、4 年生のフードスペシャリスト資格認定試験合格率は 75.0%（前年 66.7%）

であり、受験者数、受験率も低下傾向で、奮起が望まれる。

(3) 震災関連について

東日本大震災の影響で、学年初めに予定されたガイダンスは、宿泊研修等一部変更を余儀なくされたほかは、その後の授業は予定どおり開始することができた。ガイダンスは新入生および進級した在学生に今後の学修指導の徹底を図っている。また、施設については地震のため各校舎の一部外壁、内装等に補修工事の必要が生じたが、授業、行事に支障がない時期を選び施工が行われ、9月には完了した。

(4) 学生支援

学生との「意見交換会」は、学生の生の声を聞きコミュニケーションを図ると共に学習環境等改善の一助とするため毎年行われている。本年は6月9日に大学側は学長はじめ15名と学生代表者は学友会会長ほか11名計27名が出席した。意義のある意見交換会とするため、生活指導委員会を経て、拡大教授会に報告し、対応できるものは順次処理することにしており、また定期試験不合格者には「成績相談タイム」を設け学習支援を行っている。

(5) 新奨学金制度

昨年改正の奨学金制度により、入試成績優秀特待生（各20万円）及び学業成績優秀奨学生（2・3年次生各10万円）について厳正な審査を経て本年は計11名の学生が決定し、福澤学長から5月26日に奨学金が授与された。なお、東日本大震災により被災した学生3名に見舞金が贈呈された。

(6) キャリア・就職関係支援

学生のそれぞれの能力や技量に見合う進路へのきめ細かい支援業務を継続。前年度と同様に極めて厳しい採用環境の中で、4年次生の就職活動を積極的に支援、就職希望者の内定率は2学科平均90.9%（前年度93.8%）となった。

<就職状況>

管理栄養学科 管理栄養士職として多くの学生は内定 主な就職先

東京都栄養士 康正会病院、三枝病院、聖隷佐倉市民病院、千葉大学医学部附属病院同仁会、東京東病院、船橋総合病院、友愛記念病院

社会福祉法人カリタスの園、照陽会、勝曼会、東京愛育苑、初穂会、初陽会
東京児童協会、ベタニヤホーム、わかみや福社会

あゆみ保育園、ケアーズ保育園、境いづみ保育園、つぼみ保育園など。

食品学科 食品企業の研究・技術・製造職や調理職など 主な就職先

カセイ食品（株）、（株）玄米酵素、（株）寿食品工業、正栄食品工業（株）、（株）東急グルメフロント、トオカツフーズ（株）、（株）人形町今半、（株）ファーストフーズ、明治屋産業（株）、わらべや日洋（株）など。

（7）入試関係

入学者数、志願者数の確保のため、昨年に引き続き、第2志望制、一般入試Ⅲ期、センター利用入試Ⅲ期の実施、さらに食品学科では公募制推薦入試Ⅱ期を導入するなど改善を図った。管理栄養学科の志願者数は減少したものの入学定員の4倍以上を確保し、また前年来食品学科の志願者数は入試方法の改善や併願制度導入により増加に転じ、2学科共入学定員が充足された。

（8）FD、SD活動

FD・SD合同研修会として「財務現況と中長期財務計画」解説と「教員と事務職員の役割と連携」をテーマの討論会を9月1日に実施、教職員の意識向上を図り、当日は生活習慣病に関するビデオ視聴を併せて行い、健康面での自己管理の大切さを啓発した。このほか本年度も加盟協会その他外部の研修会に、積極的に参加し、意欲向上と実践の場で活かすようにしている。

（9）防災備蓄品の整備と消防・避難訓練の実施

危機管理の一環として防災備蓄品の年次計画を立て、学内2箇所を備蓄倉庫に充て整備を進め、このほかさく井工事を行って飲料水以外の生活用水に供することとした。また、消防及び避難訓練を10月12日に実施、1年在学生等および教職員の参加を得て、地元本田消防署、葛飾区役所の担当者の協力の下に避難経路の確認と初期消火、水消火器訓練や傷病者の搬出指導を受け、防災の重要性の認識を深めた。

（10）外部資金等

本年度の科学研究費申請のうち1名が採択され資金を獲得したほか、共同研究の研究分担者として1名、また学外研究機関からの受託研究は1件であった。このほか学内の特別研究は2件・共同研究は8件となり研究活動が行われている。

<専門学校>

2年制課程は引き続き学生募集を停止し、廃止に向け所轄庁への届出を行った。入学者数の確保は依然厳しい状況にある。1年制課程のみとなったが、少人数教育の良さを活かし基礎技術の修得に力点をおき、就職指導も学生の希望や適性を考慮して指導した結果、本年は経済不況の影響はあるものの、学校斡旋の就職希望者の

内定率は 95.6%（昨年 85.6%）と好転した。

<幼稚園>

創設以来、心も体も健やかにを目標に「徳育」、「食育」、「体育」の三つを柱とした保育内容の充実を図っている。「親子教室」、「2 歳児対象の幼児教室」、「講演会」、「カウンセリング」を実施するなどの子育て支援、在園児対象の保育時間外の預かり保育を継続して行っているほか、地域と共に歩む幼稚園として園庭の休日開放を実施している。

<地域社会との連携及び貢献等>

——公開講座——

本年度も東京都葛飾区教育委員会との共催も含め公開講座 4 講座（大学 3、専門学校 1）を実施した。生涯学習センター登録者は 1,732 名、新規応募者は 50 名。応募率は 1.52 倍となった。このうち大学では、健康栄養講座「中高年女性のためのフレッシュ生活」と題して 3 回連続の講座を実施。専門学校でも 12 月にクリスマスに因んだ調理実習講座を開催し好評を得た。

——食育——

1) 専門学校

食育授業として葛飾区教育委員会指導室からの依頼と協力の下に訪問校での授業形式で実施した。葛飾区立小学校 2 校、同区立中学校 1 校計 3 校で延べ 5 日間に亘り、「洋菓子実習等」を行った。

2) 大学

①葛飾区学校給食展への協力

葛飾区食育推進事業計画の一環として、10 月に「みんなで深めよう食育」をテーマに葛飾区学校給食展が開催され、本学教員がこれに協力し講演を行った。

②栄養健康情報の発信

葛飾区保健所と本学とが提携し、一昨年来毎月の食育の日（19 日）に食事バランス・栄養知識などのヒント「かつしか知っ得メモ」を作成、新小岩北口駅前商店会の飲食店のほか協力店を通じ地域住民へ栄養健康情報として発信している。

③食生活改善実践ほか

東京都食育フェアや大学祭で「日本フードスペシャリスト協会」との共催で食育イベント『大学生が考えた新しい加工食品展（卒業制作展）』を計 4 日間に亘り開催した。これは食品学科生の 1 期から 3 期までの卒業研究から展示にふさわしいものをポスター展示、試作品を提示したものである。また、管理栄養学科で

は「全国栄養士養成施設協会」との共催による「食事診断（短時間で自分の食生活の改善策がわかるって、本当！？）」をテーマに食育活動を行った。これは、食育 SAT システム（体験型食事教育システム）を活用し、食生活の望ましいあり方を参加者と共に考え、地域住民の方と食事相談の対応を行ったものである。両学科共教員の指導協力のもと学生は授業で学ぶことができない貴重な体験となった。

——地域貢献——

○ 駅北口美化活動

清掃活動への協力のほか、葛飾区と協定を締結し、昨年に引き続き大学南側敷地に「花壇」を設置、春秋2回区から提供の花を植え快適な住みよい街づくり、新小岩駅北口美化への取り組みを行っている。

○ 福島県塙町との交流

東北応援企画として大学祭において同町の特産品販売を学友会バザーとして企画実施、同町からは大学生の力を活用した集落活性化事業へさらなる協力依頼があり研究室の学生グループによる活動を行った。

<広報活動>

・大学関係

情報公開として、ホームページに「大学、学部の概要」「教員組織」「進路状況」「財務状況」等を記載。また、オープンキャンパスなど受験生や一般の方向けのインフォメーションの充実を図った。

オープンキャンパスでは本年の参加者数 1057 人（前年 933 人）受験対象者 520 人（前年 435 人）となっている。

・専門学校関係

入学案内書を刷新し、ホームページでは一日体験入学、特待生等奨学金の Web サイトを更新し、志願者数の増加を図ったが、一日体験入学参加者数は 224 人（前年 231 人）受験対象者 145 人（前年 152 人）であった。

・幼稚園関係

ホームページでは最新の園での行事活動の最新の様子を適時紹介し、充実を図った。

<施設関係>

・大学

①新校舎 7 号館の建築計画の進捗状況

教育研究環境整備（施設・設備充実）中期実施計画に基づき、新校舎 7 号館を

6号館脇のグラウンドに新築するため、学内に建築推進委員会を設置、基本設計などの検討を進め、現在詳細（実施）設計を設計業者に依頼中である。平成24年8月頃の着工を目途とし工期は約1年間の見込みであり、4号館等の既存校舎改修についても検討を重ねている。

②東日本大震災に伴う校舎補修工事

③さく井工事

④学内全館非常用放送設備工事

⑤図書館棟外壁補修工事

⑥別館内部改修工事

・ 幼稚園

園舎内ホール入り口扉新設工事

・ 専門学校

食材保管倉庫内空調工事

○ I T 情報処理関係（環境整備ほか）

サーバ更改（メールサーバ、仮想化）PC 更改

<内部監査>

理事長直属の組織として内部監査室兼任職員2名の監査委員が、前年に引き続き監査業務計画書に基づき監査を実施、書類審査後、実地調査、ヒアリングを行い確認した。